

相模原養護学校の児童、生徒の姿

笑顔の挨拶

小学部長 黄木悦子

「学校に行く」そんなあたりまえのことが思うようにできず、もどかしい気持ちを抱えて始まった今年度。特に新しく学校生活を始めた子どもたちは、なかなかリズムをつかめず、苦勞していましたが、ようやく落ち着いてきて、それぞれが生き生きと学校生活を送っています。

小学部の子どもたちは「おはようございます」の挨拶を、元気いっぱい笑顔で返してくれます。その笑顔に私たちもたくさん元気をもらっています。これからも友だちや先生との楽しい毎日を、一日一日大切に過ごしていきたいと思っています。



早く「合唱」がしたいです

分教室長 小山かおり

感染症予防のための分散登校で、なかなか他の学年と会えず、生徒の皆さんからは「1年生、どんな子がいるのかな?」「早く先輩に



会いたい!」などいろいろな声が聞かれました。少しずつ授業が始まり、新しい友だちや先生たちとも会うことができ、いろいろな活動に元気に取り組んでいます。分教室の皆さんは、特に音楽の合唱が大好き。今までもたくさんの曲を歌ってきました。「早くみんなで合唱したいです」これはみんなの願い。口を大きく開けて息をたっぷり吸って、素敵な混声合唱が響く日が来ることを祈っています。

自分を表現する

中学部長 小林泰子

分散登校からの始まりではありましたが、学校が再開され、生徒たちの元気な姿を見ることができて、とても嬉しく思いました。

早速、再開した授業についてお知らせします。1年生は「自己紹介」の授業です。名前や誕生日、好きなこと、好きな食べ物など、自分の発表内容を考えプリントを作成した後に、友だちの発表を聞き自分との共通点を発見していきました。2, 3年生は「手洗いの大切さを知ろう」の授業です。パワーポイントで新型コロナウイルスには手洗いが大切なことを知ったり、実際に手の汚れを確認する実験を行ったりと、先生や友だちと話し合いながら真剣に取り組んでいました。



生徒のいる学校

高等部長 及川悦子

生徒が学校にいる、あたりまえのことがとてもうれしい毎日になりました。登校再開から、新入生歓迎会などで学部全体が顔を合わせることもできず、校内実習も学年ごと。工夫とがまんをしながら「新しい生活様式」を身につけることを大切にして、学年を中心に学習を積み重ねてきました。1年生は高等部での生活のイメージも持ちにくく、不安なことも多かったと思います。1回だけ実施できた全体での職業の授業では、やっと始まった!という感じで先輩との交流もてました。2, 3年生もそれぞれ先輩になりました。これからが本番!みんなで運動したり、音楽を楽しんだり、いろいろな体験や思いを共にしていきたいですね。



給食のようす



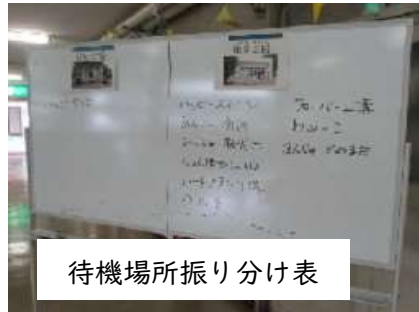
6月22日から給食が始まりました。小学部の使用している食堂の座席は、グループ形態から壁方向への一列並びに変更しています。テーブルには複数のゴミ袋を準備。食事中、一部の教員はフェイスシールドやビニール手袋を使用することもあります。アルコール消毒をして次の作業に入るなどの対策を取っています。中学部、高等部でも外向きに机を置いています。授業や日常の中で衛生に対する意識づけをおこない、環境をしっかり整えた上で生徒たちが配膳準備の手伝いを少しずつ行うようになってきています。

さまざまな感染予防対策に伴い、給食のメニューも配慮した内容になりました。段階的な対策方法を考えながら、児童・生徒が新しい体制や対策を無理なく受け入れられるよう進めています。

下校時のソーシャルディスタンス

放課後に来校する保護者とデイサービスの方には、学校で少しの待ち時間があります。最初に、職員玄関前で受付をして所定の場所で待機する間、受付情報を元にトランシーバーで各学部連絡します。各学部の教室前の廊下で、お迎えの連絡を受けた学部長からの呼び出しの音が聞こえてくると、待ちわびた表情が急に笑顔になり「さようなら」と、元気に挨拶を交わしながら昇降口もしくは職員玄関前に向かう生徒もいます。最初は戸惑いを見せていた生徒たちも、帰りの会後の教室での待ち時間が、ルーティンになり本、iPadや窓の外を眺めるなど新しい生活様式で生まれたゆったり時間を楽しんでいます。

学校で一番混雑する下校時、時間差で生徒たちが昇降口へ降りていくことで、昇降口のソーシャルディスタンスを確保しています。下校が急にお迎えに変更になった場合は、受付の先生に問合わせてみて下さい。



校舎改修工事

学校では、グラウンドに仮校舎の建設が進んでいます。背の高いクレーン車で大きな建材が運ばれ組み立てられています。B棟が改修工事に入ると、生徒昇降口も変更になります。(詳しくは後日お知らせします)

グラウンドについて工事の方に質問すると「改修工事の終了後には、仮校舎の場所にあったグラウンドは元通りになります」と、言っていました。



生徒たちは混乱もなく、現在工事が行われている風景を受け入れ眺めています。夏休み明けは、仮校舎の真新しい雰囲気にも気分も明るくなりそうです。

